

元プロ野球選手 24人が来市 野球教室、親善試合で交流

8月7日、ドリーム・ベースボールを市営野球場で開催しました。元プロ野球選手ら24人が市を訪れ、その姿を一目見ようと市内外から2841人が来場。小・中学生対象の野球教室や、市選抜チームとの親善試合、ホームラン競争などで、参加者は往年のプロ野球選手らと交流しました。



野球教室には小・中学生ら約400人が参加。子どもたちは投球、守備や打撃などに分かれ、プロの指導を受けていました



来年開催される全国大会に出場する大出水さんは「結果には、びっくり。全国大会では1位を目指す」と意気込みを語りました

九州青年農業者会議で 市内の若手農家2人が活躍

8月3日、九州・沖縄地区青年農業者会議に出場した大出水拓磨さんと柚木崎寛弥さんが市長を訪問し、結果を報告しました。柚木崎さんは意見発表の部で優秀賞を受賞。大出水さんは、プロジェクト発表の部門別で最高得点を出し、全国大会への出場権を獲得しました。



広報部部長
山中悦郎さん



すきむらの楽しいを発信します。皆さんの参加をお待ちしています。

演劇「塩の道」で語り部の常市を演じました

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、須木地区

すきのPR隊～情報発信に向けて～

「すきむらづくり協議会」の事務所を須木庁舎1階に設置しました。誰でも気軽にきて会議・情報交換ができるようになっていきます。

むらづくり部会では、花いっぱい運動で国道沿道に四季折々の花を植栽しています。安心づくり部会では、防犯と有効活用のために空き家調査を行なっています。最後に元気づくり部

会では、9月にソフトボール、11月にミニバレー大会を開催します。これら3部会に加えて『須木弁(方言)カレンダー』と『ホームページ』作成のためのスタッフを募集し、「広報部会」を立ち上げます。須木地区内で埋もれている「人・もの・自然」の宝を掘り起こし、広く内外に発信していきます。

栗屋さん人権擁護委員を退任 長年の功績に感謝状

7月19日、人権擁護委員の栗屋莊八郎さんが退任し、法務大臣感謝状と県人権擁護委員連合会長感謝状が贈られました。栗屋さんは「皆様のご協力があったからこそ、委員として活動を続けることができた。自分自身にとっても、いい勉強になりました」とあいさつしました。



栗屋さんは、平成13年に委員就任し、都城人権擁護委員協議会の会長を務めるなど人権啓発活動に尽力しました

人気のチーズ菓子を生産拡大 誘致企業の立地調印式開催

7月29日、株式会社オンザマークの企業立地調印式が行われました。製造販売するチーズフィナンシェ菓子「とくぼう」の生産拡大が目的。今年2事業所目となる誘致企業に指定され、水間篤大朗代表取締役は「商品を市から都市部に届け、市のPRに貢献したい」とあいさつしました。



誘致企業指定通知書の交付をうける水間篤大朗代表取締役。加工場は8月着工、10月完成予定で新たに5人の雇用を創出します



益城町区長会長から熊本地震の被災状況について体験談も含めながら説明を受け、避難所支援のあり方について学びました

小林秀峰高校の生徒と市民ら 熊本で清掃ボランティア

7月16日、小林秀峰高校インターアクトクラブの生徒と小林ロータリークラブ、宮崎県防災士ネットワーク西諸支部、NPO法人小林市SVCセンターなど27人が、熊本地震で被災した熊本県益城町の避難所(総合体育館)で清掃のボランティア活動を行いました。



ポンプ車の部で優勝した第10分団第6部。優勝した3つの部は8月27日に宮崎市で開催される県大会の出場権を獲得しました

3つの部門で市代表が優勝 西諸支部消防操法大会

7月24日、西諸支部消防操法大会が市消防団訓練広場でありました。市大会で優勝した第10分団第6部(ポンプ車の部)、第7分団第5部(小型ポンプの部)、第7分団第7部(小型ポンプ積載車の部)の3つの部が出場。競技の結果、すべての部が優勝しました。

地域と学校の連携の重要性学ぶ

7月29日、教育フォーラムが文化会館で行われました。大分大学COC+推進機構の梶原敏明さんが「地域とともにある学校づくりとチーム学校」をテーマに講演。教職員ら400人が参加し、地域と学校の連携について理解を深めました。



西高生、地元食材使った料理を提供

7月24日、25日、8月7日、8日に小林西高調理科の生徒が三ツ星レストランを開店しました。地元食材を使った料理をビュッフェ形式で提供。同校3年の比志島裕香さんは「チョウザメも使い、食べやすい工夫を心がけました」と話しました。



今年は出来上々。観光農園が開園

8月5日、6日に坂下地区・種子田地区の観光農園が開園しました。開園式には家族連れや園児が訪れ、梨狩りを体験。坂下地区振興会の小原修一会長は「長雨の影響も受けず、甘みの乗った良いものができた」と話していました。



国際交流員にリザ・メロンさん着任

8月3日、フランス出身のLisa Melonさんが国際交流員に着任しました。外国語教育の充実や国際交流の進展を図ることが目的。メロンさんは「小林に来るのを楽しみにしていました。気軽に声をかけてください」と話していました。(関連記事25ページ)



ウォータースポーツで小野湖を活用

8月11日、小野湖の活用促進を目的にSURF CITY 宮崎主催のSUPツアーが開催されました。SUPとは、サーフボードに立ちパドルで漕ぐウォータースポーツ。10人の参加者は、水上を移動しながら須木の大自然を楽しみました。



市民協働で市内各地の道路を清掃

8月は「道路愛護月間」。毎年、小林市では第1日曜日を「道路愛護デー」とし、清掃などの奉仕作業が行われています。8月7日、市内でも各地区の市民らが早朝から各地区の道路を清掃。約1万1000人が参加し、草刈りやごみ拾いを行いました。



トランポリンの九州大会を開催

8月20日、21日に市民体育館で第10回全九州トランポリン競技選手権大会が開催されました。所属クラブ18団体の小学生から一般まで約150人が出場。個人と県対抗の2部門で技を競い合い、市内から4人が個人部門で入賞しました。



リオ五輪代表の田中智美選手を応援

8月14日、リオ五輪女子マラソンに出場した田中智美選手のパブリックビューイングを市内3カ所で行いました。田中さんの母親は市出身で祖父母は市在住。市とゆかりのある田中選手のため住民ら220人が集まり、声援を送りました。

